

BLACK+ DECKER™

取扱説明書

100mm ディスクグラインダー G650

▶安全上のご注意

P2～P6

▶使う前に

P7

▶使い方

P8～P15

▶その他の情報

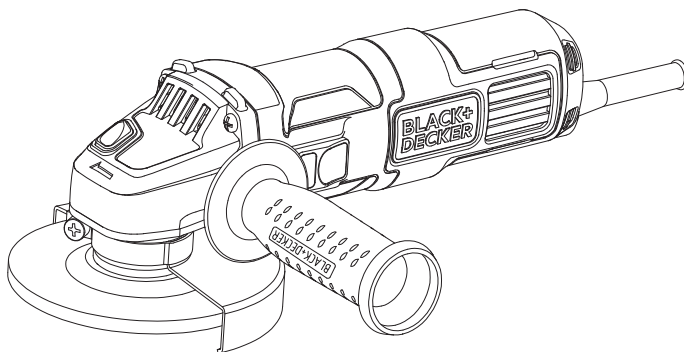
P16

▶仕様／能力

P17

▶保証書

P19～P20



☐ アース不要の二重絶縁構造

このたびはブラック・アンド・デッカー「100mm ディスクグラインダー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。

この取扱説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。
この取扱説明書は、本製品をお取扱いの際に、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、説明しています。
表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、気をつけていただきたい、「注意喚起」の内容です。



警告

・濡れた手で電源プラグに触れない。
感電のおそれがあります。

・雨中や湿った場所など本体内部に水が入りやすい環境では使用しない。
湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながるおそれがあります。

・保護メガネや他の保護器具を使用する。
飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。切り粉が多量に出る作業では、防塵マスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用が必要です。

・加工材はしっかりと固定する。
クランプや万力などで加工材を固定してください。電動工具は両手で保持し、安全な作業を行ってください。

・次の場合は、必ずスイッチを切り、コンセントから外す。
①お手入れや点検。
②刃物やビット類の交換。
③その他危険が予想される場合。

・適切な服装で作業する。
そで口の開いた服装や宝石類を身に付けて作業しないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれるおそれがあります。
屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。
必要に応じて、作業帽をかぶってください。

・不意な始動は避ける。
本体をコンセントに差し込む前に必ずスイッチがオフの状態であることを確認してください。スイッチに指を掛けて運ばないでください。スイッチが入っているのに意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

・電源コードを乱暴に扱わない。
コードをもって工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
コードを熱、油、鋭利なものに近づけないでください。万一、誤ってコードが損傷した場合は、手を触れず直ちにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。ギズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。コードの修理に関しては、ブラック・アンド・デッカーのサービスセンターで行ってください。

・危険物のまわりでは決して作業しない。
スイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。

・常に注意して作業を行う。
電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して作業をしないでください。作業時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。

・スイッチがオンできない、あるいはオフができない場合は、使用を中止する。
スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

・指定の付属品、アタッチメントを使用する。
使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

・ご使用の前に、損傷部品を点検する。

本体やその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されることを確認してください。

・お子様を近づけない。

作業場所は作業者以外、立ち入り禁止にしてください。

・定格電圧が電源と一致しているか確認する。

定格電圧は銘板に表示されています。

・感電に注意する。

電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないでください。(例:パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)。

・電動工具の修理は、専門家に依頼する。

この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

修理は、必ずお買い求めの販売店、または弊社サービスセンターにご依頼ください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。



注意

・明るく清潔で、安全な場所で作業する。

散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。

・電動工具を駆動させたまま、台や床などに放置しない。

けがの原因になります。

・調節用キー、レンチなどは、使用時以外は必ず取り外す。

スイッチをオンする前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認してください。

・電動工具に無理な力をかけない。

電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。

また、適した速度で使用するによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。

・使用していない電動工具は、きちんと保管する。

お子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。

電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。

・作業にあった電動工具を使用する。

指定された用途以外には、ご使用にならないでください。

・無理な姿勢で作業をしない。

常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

・使用後は常に手入れをする。

ハンドル部や握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



・電動工具・充電電池・充電器のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V		電圧
==		直流
回		二重絶縁
△		注意
No		無負荷状態での回転数
○○○○min ⁻¹		1分毎の回転数

・電動工具と刃物類は、こまめに手入れをする。

安全で効率のよい作業をするために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。

・騒音について。

必要に応じて遮音壁を設けてご使用ください。周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。

・延長コードはできるだけ短いコードを使う。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短い (30m 以内) キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードをご使用ください。

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	15m
2.00mm ²	30m

・二重絶縁について。

工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

ディスクグラインダーに関する安全上の追加事項



警告

・この製品はグラインダー、サンダー、ワイヤブラシ、または切断作業用工具として機能するように作られています。

取扱説明書をよくお読みの上、お使いください。感電、火災、けがの原因になります。

・作業前に本体を無負荷で動かし、異常な振動や揺れがないか確認する。

先端工具の取り付け不備や先端工具のバランスが大きく崩れる可能性があります。けがの原因になります。

・作業前に加工材が適切に保持されていることを確認する。

けがの原因になります。

・本体の風窓は定期的に掃除をする。

粉じんなどが溜まると故障の原因になります。

・つや出しなどの作業をしない。

けがの原因になります。

・取扱説明書で推奨している先端工具以外は使用しない。

事故やけがの原因になります。

・電動工具の銘板に表示されている回転数よりも高い許容回転数の先端工具を使用する。

許容回転数が銘板表示より低い先端工具を使用すると、先端工具が破壊し、事故やけがの原因になります。

・銘板に表示してある電圧の電源を使用する。

表示を超える電圧で使用すると、事故やけがの原因になります。

・先端工具の取付方法、使用方法については、電動工具および先端工具付属の取扱説明書の指示に従う。

けがの原因になります。

・先端工具は、取扱説明書で推奨している外径および厚さのものを使用する。

能力外の先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。

・スピンドルに確実に取り付けることができる先端工具を使用する。

合わない先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。

・先端工具にヒビ、割れがないことを使用前に確認する。

先端工具が破壊するおそれがあり、けがの原因になります。

・誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

・安全保護具を着用する。

作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、作業に応じて、発生する粉じんを遮断できる防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）、手袋などを着用してください。

粉じんや騒音に長時間さらされると健康を害する可能性があります。

・周囲の人を作業領域に近づけない。作業領域に近づく場合は、安全保護具を着用する。

加工材または破損した先端工具の破片が飛散し、事故やけがの原因になります。

・軍手などの布製の手袋は使用しない。

手袋の繊維が本機に入り込み、故障の原因となります。

・作業前に、電気配線や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。内部の配線を切断する可能性があるため、切断作業の時は特に注意する。

また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

・電源コードは先端工具に触れないように、離して置く。

制御を失ったときや作業時に誤ってコードを切断したり、引っかかったりして、事故の原因になります。

・先端工具が完全に停止してから、本体を台や床に置く。

先端工具が引っかかったりして、事故の原因になります。

・運転をしている間は、先端工具を身体に近づけない。

先端工具が衣服に引っかかったり、身体に触れたりする事で、けがや事故の原因になります。

・研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざける。
また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
火災ややけどの原因になります。

・水、研削液などは使用しない。
本機は乾式用のため、けがや感電のおそれがあります。

・使用中に先端工具が加工材にはさまったり、引っかかったりしたときには、キックバックという突然の反動を受けることがあります。
事故やけがの原因になりますので、次の点に注意してください。
・使用中は、反動や衝撃等が生じることがありますので、本体を手離さないようしっかり保持してください。特に始動時は気をつけてください。
・手を先端工具の近くに置かないでください。
・キックバックが発生したときに備えて本体の作業方向の延長線上に身体を置かないでください。
・コーナーや鋭いエッジなどを加工するときは特に注意してください。
・指定された先端工具以外での切断作業はしないでください。

・ホイールカバーを取り付けて使用する。
ホイールカバーを取り付けずに使用すると、破損した先端工具の破片および先端工具との不測の接触によりけがの原因になります。

・本体を万力などで保持するような使い方をしない。
けがの原因になります。

・使用中は、先端工具や切り屑などに手や顔などを近づけない。

・使用中、電動工具の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社サービスセンターに点検、修理を依頼する。
そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。

【事業者の方へ】先端工具の交換・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
・関連法令 労働安全衛生規則 第36条、労働安全衛生法 第59条
・安全衛生特別教育規程 第1条、第2条

・カップ砥石は使用しない。
けがや事故の原因になります。

・スピンドル、フランジは傷つけないように取り扱う。
先端工具破損の原因となります。

・作業は先端工具の指定された面で行う。
指定以外の面で行うとけがの原因となります。

・スイッチをオンした状態のまま、電動工具から離れない。
作業中はしっかり手で本機を保持してください。
けがの原因になります。

・作業直後の加工材を触らない。
加工材が熱くなっており、やけどやけがの原因となります。

・他用途の先端工具（丸のこ刃、チップソーなど）は使用しない。

・取扱説明書で推奨している先端工具、およびホイールカバーを使用する。
推奨外の先端工具やホイールカバーを使用すると事故やけがの原因になります。

・ホイールカバーは、作業者の方向に露出する先端工具を最小限にする位置に確実に取り付けて使用する。
先端工具との不測の接触や破損した砥石から作業者を保護します。

・研削砥石や切断砥石を使用する際、研削火花を吸じんしない。

・砥石は正しい使用面で使用する。
切断砥石の側面や上面では切断しないでください。切断砥石以外の砥石での切断はしないでください。
砥石が破損して事故やけがの原因になります。

・切断砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石に対応する適正なホイールカバー、およびフランジを取り付けて使用する。

・消耗した砥石は使用しない。
回転速度の違いから破裂するなど事故の原因になります。

・切断作業中に先端工具をかみ込ませたり、過剰な力で押しつけたりしない。
モータに無理がかかるばかりでなくキックバックや砥石の破壊による事故やけがの原因になります。

・切断作業中は回転中の先端工具の切断線上に身体を配置しない。
けがの原因になります。

・切断作業中に先端工具が拘束されたときは、電動工具のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離し、原因を除去する。
拘束されたまま再開すると、けがのおそれがあります。

・市販のラバーパッドを使用する時は、ラバーパッドに合ったサンディングディスクを使用する。
大きすぎるサンディングディスクはディスクの破損やけがのおそれがあります。

・切断作業を中断したときは、切断部に切込んだまま再始動しない。
本体のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離して再始動してください。先端工具が最高速度に到達してから注意しながら切断部へ切込んでください。
切込んだまま再開すると、けがのおそれがあります。

・市販のワイヤブラシを使用する時は、ワイヤブラシに過剰な力を加えない。
ブラシに過剰な負荷をかけることでワイヤがより抜け易くなるおそれがありますので注意してください。
けがのおそれがあります。

・加工材は確実に固定する。

・ホイールカバーを使用して市販のワイヤブラシを使用する時は、ホイールカバーとワイヤブラシが接触しないことを確認する。

・ジグザグに切断したり、本体をこじったりしない。



注意

・先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。

・高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認する。
また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。

・電源コードに回転中の先端工具を近づけない。
万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・試運転を励行する。

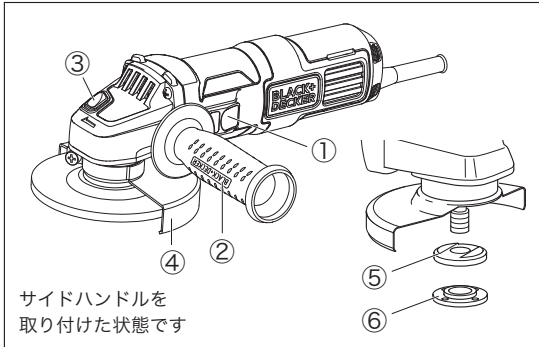
試運転時間

・砥石交換のとき 3分以上
・作業開始のとき 1分以上

・新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避ける。

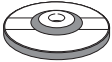
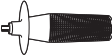
使う前に

製品をご確認ください
各部の名称

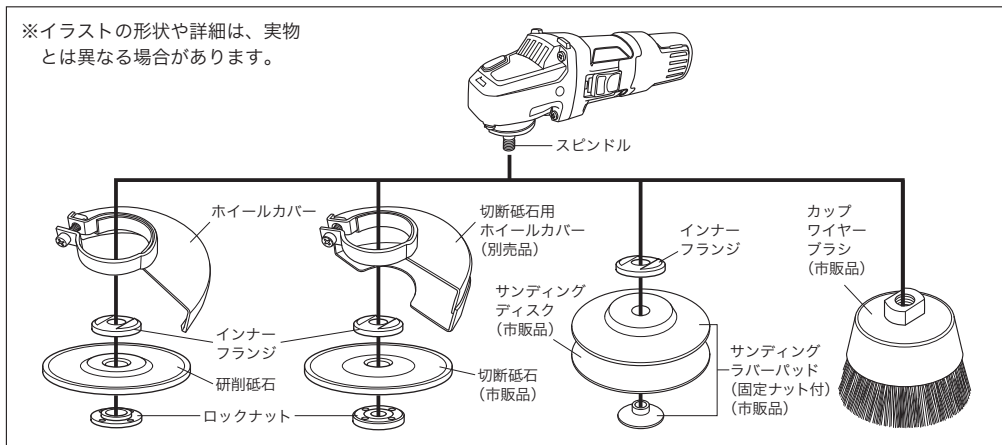


- ①スイッチレバー
- ②サイドハンドル
- ③スピンドルロックスイッチ
- ④ホイールカバー
- ⑤インナーフランジ
- ⑥ロックナット

G650には以下の製品が含まれています。

部 品 名	入 数	部 品 名	入 数
スパナレンチ 	1	研削砥石 	1
サイドハンドル 	1	インナーフランジ/ ロックナット 	各 1
ホイールカバー 	1		

※イラストの形状や詳細は、実物
とは異なる場合があります。



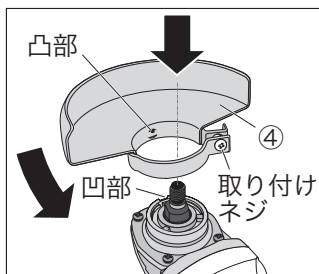
使い方

◆ホイールカバーの取り付け・取り外し



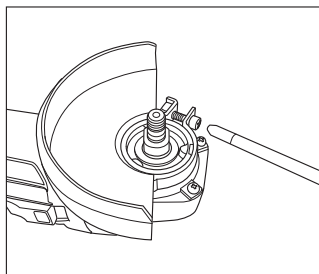
警告

- ・ホイールカバーの取り付け・取り外しの際は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。プラグをコンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。
- ・ホイールカバーは、必ず取り付けて使用してください。先端工具が破壊したとき、けがの原因になります。



取り付け

- 1) ホイールカバー (④) の取り付けネジをお手持ちのプラスドライバーでゆるめてください。
- 2) ホイールカバーの凸部をギアボックスの凹部の位置に合わせ、ホイールカバーをギアボックスにはめ込んでください。
- 3) ホイールカバーを矢印の方向に180度溝に沿って回し、お手持ちのプラスドライバーで取り付けネジを締め、固定してください。



取り外し

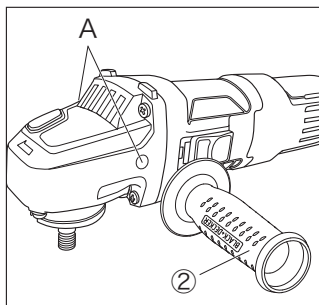
- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

◆サイドハンドルの取り付け



警告

サイドハンドルの取り付け・取り外しの際は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。プラグをコンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

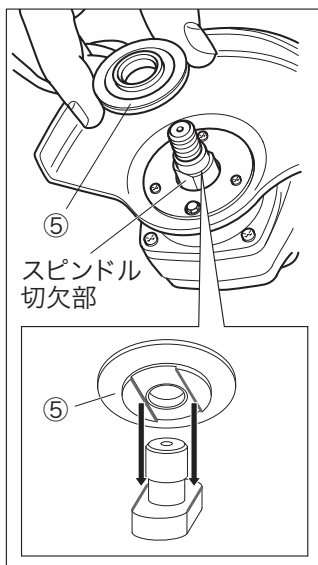


- ・サイドハンドル (②) は本体左右2箇所 (図中A) に取り付けが可能です。取り付け穴にサイドハンドルを差し込み、時計回りに回し、固定してください。作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。

◆先端工具の取り付け・取り外し

⚠ 警告

- ・付属品、市販品などの先端工具の取り付け、取り外しのときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・先端工具にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。先端工具が破壊し、けがの原因になります。

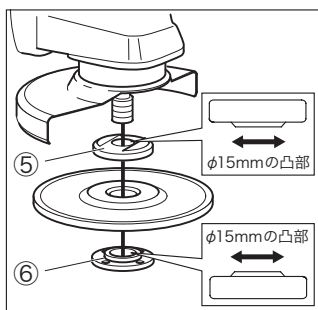


取り付け

- 1) 左図のようにスピンドルを上に向け、最初にインナーフランジ (5) をスピンドル切欠部に合わせて取り付けます。
- 2) 次に先端工具（研削砥石）の凸部を工具本体側に向け取り付けます。最後にロックナット (6) をイラストの向きにしたがってスピンドルにねじ込みます。
- 3) スピンドルロックスイッチ (3) を押さえながらロックナットを付属のスパナレンチでしっかり締め付けてください。
スピンドルロックスイッチを押すことで、スピンドル（主軸）の回転を止めることができます。

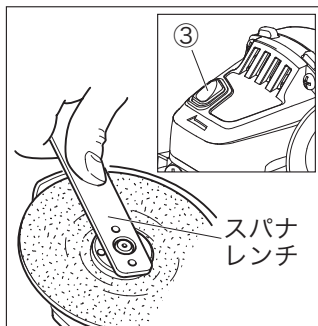
取り外し

- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

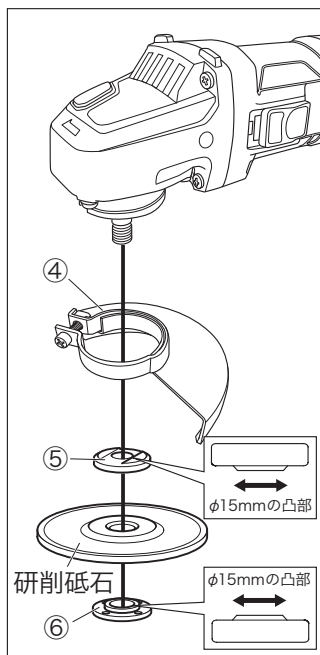


⚠ 注意

取り付ける先端工具によりインナーフランジ、ロックナットの向きが異なります。次ページ以降の指示に従って取り付けを行ってください。



◆研削砥石の取り付け・取り外し



取り付け

- 1) 8ページの「ホイールカバーの取り付け・取り外し」を参照して、ホイールカバーを取り付けてください。
- 2) 9ページの「先端工具の取り付け・取り外し」を参考にして、インナーフランジ (⑤)、研削砥石、ロックナット (⑥) の順に取り付けてください。この時、研削砥石は凸部を工具本体側に向け取り付けてください。(※インナーフランジ、ロックナットの向きは左のイラストを参考にしてください。)

取り外し

- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

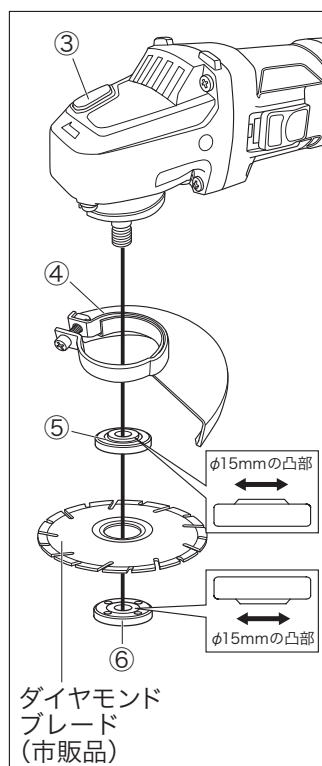
◆ダイヤモンドブレード（市販品）の取り付け・取り外し

用途：レンガ、ブロック、コンクリート、モルタル、瓦、石材などの溝入れ、切断に。



警告

- ・ダイヤモンドブレードを使用する際は、必ずホイールカバーを取り付けてください。
- ・ダイヤモンドブレードは、回転方向と本体ギアケースの矢印の方向を合わせて取り付けてください。



取り付け

- 1) 8ページの「ホイールカバーの取り付け・取り外し」を参照して、ホイールカバー（④）を取り付けてください。
- 2) 9ページの「先端工具の取り付け・取り外し」を参考にして、インナーフランジ（⑤）、ダイヤモンドブレード、ロックナット（⑥）の順に取り付けてください。（※インナーフランジ、ロックナットの向きは左のイラストを参考にしてください。）
- 3) スピンドルロックスイッチ（③）を押さえながらロックナットを付属のスパナレンチでしっかり締め付けてください。

取り外し

- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

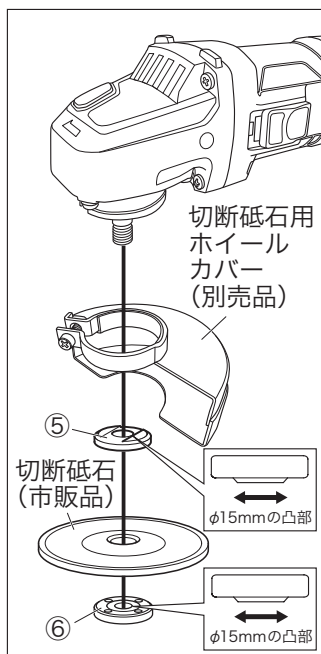
◆切断砥石（市販品）、切断砥石用ホイールカバー（別売品）の取り付け・取り外し

用途：金属（鉄、ステンレスなど）の切断に。



警告

- ・切断砥石を使用するときは、切断砥石専用のホイールカバー（別売品）に付替えて使用してください。
- ・切断砥石の場合は、ロックナットの向きが研削砥石とは異なりますので注意してください。



取り付け

- 1) 8ページの「ホイールカバーの取り付け・取り外し」を参照して、切断砥石用ホイールカバー（別売品）を取り付けてください。
- 2) 9ページの「先端工具の取り付け・取り外し」を参考にして、インナーフランジ（⑤）、切断砥石、ロックナット（⑥）の順に取り付けてください。（※インナーフランジ、ロックナットの向きは左のイラストを参考にしてください。）

取り外し

- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

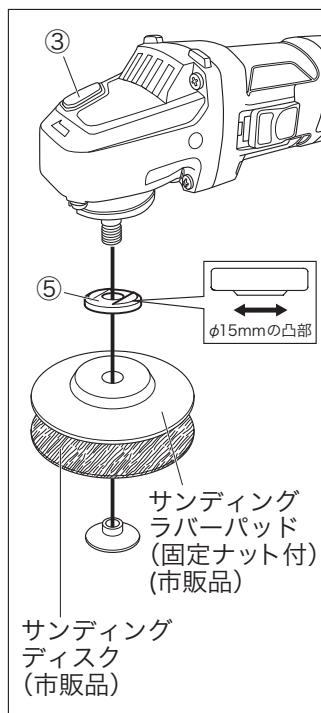
◆サンディングディスク（市販品）の取り付け・取り外し

用途：仕上げ、塗装面の下地磨き、サビ取り、塗装はがしに。



警告

- ・サンディングディスクの使用には、市販のサンディングラバーパッド（固定ナット付）とサンディングディスクが必要です。
- ・取り付けの際は、市販のサンディングラバーパッドの取扱説明書の指示に従ってください。



取り付け

- 1) 9ページの「先端工具の取り付け・取り外し」を参考にして、インナーフランジ（⑤）を取り付けてください。（※インナーフランジの向きは左のイラストを参考にしてください。）
- 2) 市販のサンディングラバーパッドを取り付け、ラバーパッドにサンディングディスクを取り付けます。
- 3) サンディングディスクの上から固定ナットを取り付け、スピンドルロックスイッチ（③）を押さえながら固定ナットを付属のスパナレンチでしっかり締め付けてください。

取り外し

- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

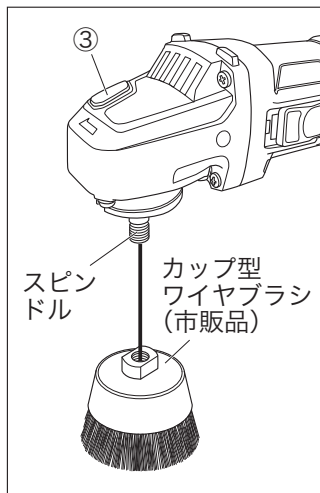
◆カップ型ワイヤブラシ（市販品）の取り付け・取り外し

用途：鉄材などの表面仕上げ、塗装はがしに。



警告

- ・カップ型ワイヤブラシの使用には、市販のカップ型ワイヤブラシが必要です。
- ・取り付けの際は、市販のカップ型ワイヤブラシの取扱説明書の指示に従ってください。



取り付け

- 1) インナーフランジ、ロックナットを取り外し、スピンドルに直接カップ型ワイヤブラシをねじ込みます。
- 2) スピンドルロックスイッチ（③）を押してスピンドルを固定し、お手持ちのスパナでカップ型ワイヤブラシを十分に締付けます。

取り外し

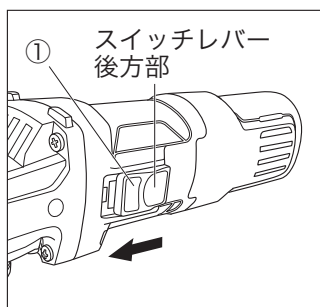
- ・取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

◆スイッチレバーの操作方法



警告

電源にプラグを差し込む前に、必ずスイッチが切れていることを確認してください。スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。



スイッチレバー（①）を図中の ← 方向へスライドさせると作動します。

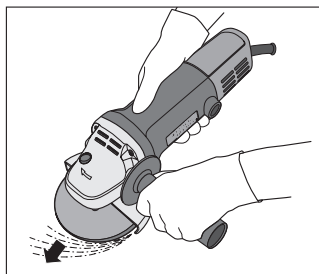
奥まで押し込むとロックされスイッチレバーを離しても作動し続けます。

ロックを解除するには、スイッチレバーの後方部を押すとスイッチレバーが後方へスライドされディスクの回転は徐々に停止していきます。

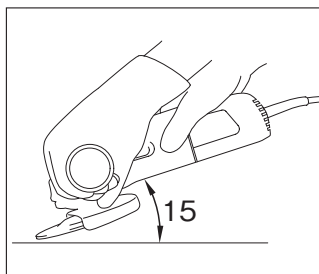
◆研削作業のヒント

⚠ 警告

- ・ご使用の際は、必ず安全保護具を着用してください。
- ・使用後はスイッチを切って、ディスク（先端工具）の回転が完全に止まってから機械を置いてください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので注意してください。



- ・サイドハンドルを片手でしっかりと握り、もう一方の手で本体を持ちます。
- ・ホイールカバーでカバーされていないディスクの部分が体から離れた場所にあるようにホイールカバー位置を設定してください。

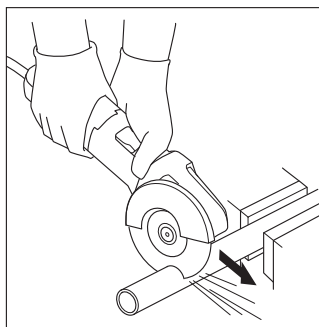


- ・ディスクが金属に接すると火花が散りますのでご注意ください。研削作業中にディスクと作業面の角度を常に正しく（15°程度）保ってください。これによってディスクの研削能力を最大に発揮し、ツールに不必要な負担をかけることを防ぎます。

◆切断作業のヒント

⚠ 警告

- ・切断作業中に先端工具をかみ込ませたり、過剰な力で押しつけたりしないでください。モータに無理がかかるばかりでなくキックバックや砥石の破壊による事故やけがの原因になります。
- ・使用後はスイッチを切って、先端工具の回転が完全に止まってから機械を置いてください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので注意してください。



- ・先端工具が加工材に触れない位置でスイッチを入れてください。
- ・回転が十分に上がって、安定したことが確認できてから、加工材に先端工具をゆっくり押し当て切断を行ってください。切り終わるまでこの状態を保ってください。

その他の情報

メンテナンス



警告

点検・手入れの際は、必ずプラグをコンセントから外してください。
プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

製品の清掃には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整はブラック・アンド・デッカーにて認定技術者が純正部品を使用して行わなければなりません。必ずお買い上げの販売店または当社までご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがのおそれがあります。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは、ブラック・アンド・デッカー オンラインショップにて販売しております。また、付属品についてのお問い合わせは、ブラック・アンド・デッカーまでご連絡ください。(供給していない付属品もございます。あらかじめご了承ください。)

仕 様

▽本体	
品番	G650
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	650W
回転数	12,000回転/分
砥石寸法	外径100mm×厚さ6mm×内径15mm
スピンドル径	M10
コード長	2m
質量	1.25kg (付属品未装着時) 1.5kg (ホイールカバー、インナーフランジ、ロックナット装着時)
外形寸法	長さ255mm×幅73mm×高さ75mm (付属品未装着時) 長さ255mm×幅116mm×高さ105mm (ホイールカバー、インナーフランジ、ロックナット装着時)
付属品	研削砥石、サイドハンドル、ホイールカバー、スパナレンチ、インナーフランジ、ロックナット

※製品仕様及び内容は改良のため予告なく変更することがあります。

<輸入販売元>

ポップリベット・ファスナー株式会社
ブラック・アンド・デッカー事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-11-22
 山種池袋ビル4F

Tel: 03 (5979) 5677 Fax: 03 (5979) 5788



オフィシャルサイト

www.blackanddecker-japan.com



facebookサイト

www.facebook.com/BlackAndDecker.JAPAN

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

製品保証書

<保証規定>

保証期間：お買い上げ日より1年間。

- 1) 取扱説明書や製品ラベルに記載されている注意書きに従った使用状況で、本製品が故障した場合には、無償修理をいたします。
無償修理をご依頼になる場合は、以下のものを、お買い上げの販売店、またはブラック・アンド・デッカーまでご持参、ご送付ください。
その際の諸費用は、お客様の負担となります。
 - ・製品
 - ・必要事項を記入した本書
 - ・レシート（領収書）またはそのコピー
- 2) ブラック・アンド・デッカー認定サービスセンターが保証対象の認定を行います。
- 3) 次の場合は、本保証書規定の対象外となり、有料の修理または交換となります。
 - ◆本書、お買い上げの日付を証明するレシート（領収書）またはそのコピーがない場合
 - ◆ご家庭以外（業務用としてなど）で使用した場合の故障および損傷
 - ◆オークションや、中古品など新品でご購入した以外の場合
 - ◆移動、落下、水没など製造上の問題以外による故障および損傷
 - ◆使用上の誤りや注意書きを無視した使用による故障及び損傷
 - ◆不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ◆火災・地震などの天災。騒乱などの人災、公害や異常電圧などの環境による故障および損傷
 - ◆海外など、ご利用電源が100V（50 / 60Hz）でない環境でのご使用による故障および損傷
 - ◆保証期間経過後のご依頼
 - ◆温度、湿度など適正な環境以外でのご使用による故障および損傷
 - ◆過負荷をかけた場合、または不具合が発生しながら継続ご使用による故障および損傷
 - ◆製品上に刻印されているデートコードが認識できない場合
 - ◆セット品のうち一部の製品において他の製品とデートコードが一致しない場合
 - ◆製品を貸与されてのご使用による故障および損傷
- 4) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 5) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 6) 本規定は、以上の保証規定により修理・交換をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7) 本規定は予告なく変更されることがあります。

※ビット、ノコ刃、サンドペーパー、掃除機フィルター、チェーン刃等の消耗品は保証の対象外です。

<アフターサービスについて>

アフターサービスに関する事項は、「アフターサービスについて」をご参照ください。
保証期間経過後の修理等については、ブラック・アンド・デッカーまでお問合せください。

<個人情報のお取り扱いについて>

弊社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の住所、氏名、電話番号などの個人を識別、もしくは特定することのできる固有の情報（以下「個人情報」）を、本サービス提供目的のため、弊社ならびに弊社指定の宅配業者に提供します。お客様は、あらかじめこれに同意するものとします。また個人情報は、新製品情報、イベントのご案内、弊社製品サービスの品質向上のためにも利用させていただきます。

BLACK+DECKER

ブラック・アンド・デッカー 製品保証書

本書は、裏面に記載された保証規定により無償で修理・交換をお約束するものです。詳細は裏面の保証規定をご参照ください。

お客様記入欄

フリガナ

お 名 前

T E L

()

ご 住 所

(〒)

都道
府県

製品名

型番

100mm ディスクグラインダー

G650

お買い上げ日

販売店名

年 月 日

販売店住所

TEL : ()

ポップリベット・ファスナー株式会社
ブラック・アンド・デッカー事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-11-22 山種池袋ビル4F
TEL:03(5979)5677 FAX:03(5979)5788